

派遣先担当者が派遣社員に求める スキルについての調査結果

(2023年度優良派遣事業者認定制度認知度調査結果より抜粋)



一般社団法人 人材サービス産業協議会
Japan Association of Human Resource Services Industry

調査概要

調査手法	インターネット調査
標本抽出	株式会社インテージ 法人パネルより抽出
エリア	全国
対象者条件	1. 会社員（係長以上クラス） + 【勤務先従業員数】5人以上 2. 公務員・団体職員
除外条件	人材業界従事者
回収数	2,142s
実査期間	2023年6月24日～26日

（注）本調査の主目的は派遣先企業における「優良派遣事業者認定制度」の認知度を把握するものであるが、設問には参考項目として、優良派遣事業者認定基準の検討や認定取得しようとする派遣会社の取組みに関する質問も含めている。本調査結果報告書は、それらの参考質問のうち、派遣社員に求めるスキルに関する項目のみを抜粋してまとめたものである。

- 派遣社員に求められる仕事に必要な基礎的なスキルは「コミュニケーションスキル」という回答が最も多く、次いで「基本的なPC操作のスキル」、「ビジネスマナー」と続くが、「問題解決スキル」や「プレゼンテーションスキル」については正社員に比べて派遣社員にはあまり求められていない
- 派遣先担当者全体で約 7 割、事務系の派遣社員が多い場合は約 8 割の派遣先担当者がなんらかのデジタル系スキルを派遣社員に求めると回答、正社員に求める割合も約 8 割で同程度
- 具体的なデジタル系スキルで派遣社員に多く求められるのは「インターネット利用の基礎」や「ネットワークセキュリティ」などだが、人工知能（AI）などの高度なスキルについても 2 割は「求める」と回答
- 派遣先における正社員へのデジタル系スキルの研修の実施状況については、主なスキルについての研修を実施している割合は 3 ～ 4 割、「今後必要と考えている」という回答も含めると約 7 割は、デジタル系スキルの研修実施に関心があるといえる

1. 派遣活用状況
2. 派遣社員に求める仕事に必要な基礎的なスキルについて
3. 派遣社員に求めるデジタル系スキルについて
4. 参考：正社員へのデジタル系スキルの研修実施状況について
5. 回答者の属性

※本調査におけるスキルの定義

【仕事に必要な基礎的なスキル】

- コミュニケーションスキル：効果的なコミュニケーションのスキル、コミュニケーションの障害とその克服法、フィードバックの受け方と与え方など
- プレゼンテーションスキル：プレゼンの基礎、プレゼンの構成、聴衆を引きつけるスキル、スライドの作成など
- パソコンスキル：基本的なパソコン操作、ワード、エクセル、パワーポイントなどのオフィスソフトの使い方、インターネットの利用など
- ビジスマナー：社会人としての基本的なマナーやビジネス館今日での適切なふるまい、ビジネスエチケットなど
- 情報セキュリティ：情報の保護、セキュリティリスクの認識、パスワード管理、データのセキュアな取り扱いなど、情報セキュリティに関する基本的な知識やスキル
- 問題解決スキル：問題の分析や解決策の立案、クリティカル思考や論理的思考の訓練、データの活用など

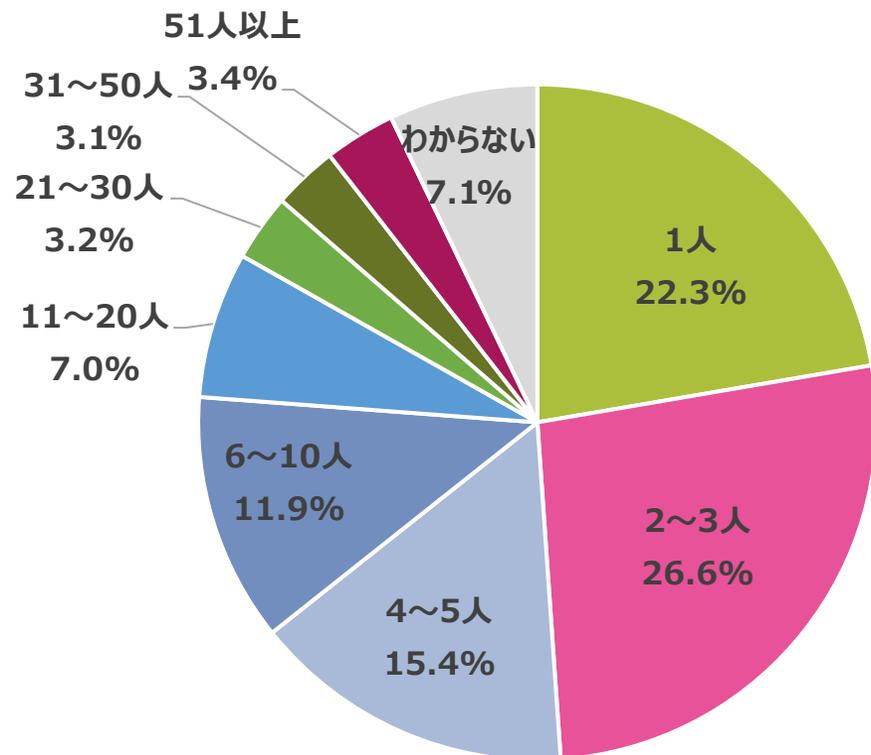
【デジタル系のスキル】

- デジタルマーケティング：Web広告やSNSマーケティング、SEOなどのデジタルマーケティングの基礎知識
- ビッグデータ分析：ビッグデータの収集・分析方法、分析結果の活用など
- クラウドコンピューティング：クラウドサービスの利用方法やクラウドシステムの構築など
- 人工知能（AI）基礎：AIの基礎知識、機械学習の理論やアルゴリズム、ニューラルネットワークの仕組みなど
- 人工知能（AI）応用：画像・音声認識、自然言語処理、生成AIなど、AIを活用した実践的な応用技術
- ロボティクス：ロボットの基本的な仕組みや種類、制御、センサ技術など
- RPA（Robotic Process Automation）：自動化ツールの導入やプログラミングの知識がなくてもできる自動化プロセスの作成
- IoT（Internet of Things）：IoTの基礎、センサーデータの収集、データの処理、ビジネスにおけるIoTの活用など
- ネットワークセキュリティ：ネットワークセキュリティの基本概念、脅威や攻撃手法の理解、セキュリティ対策、ファイアウォールやVPNの設定、侵入検知システムなど
- インターネット利用の基礎：WEBブラウザやメール、WEB会議ツールの基本的な活用など

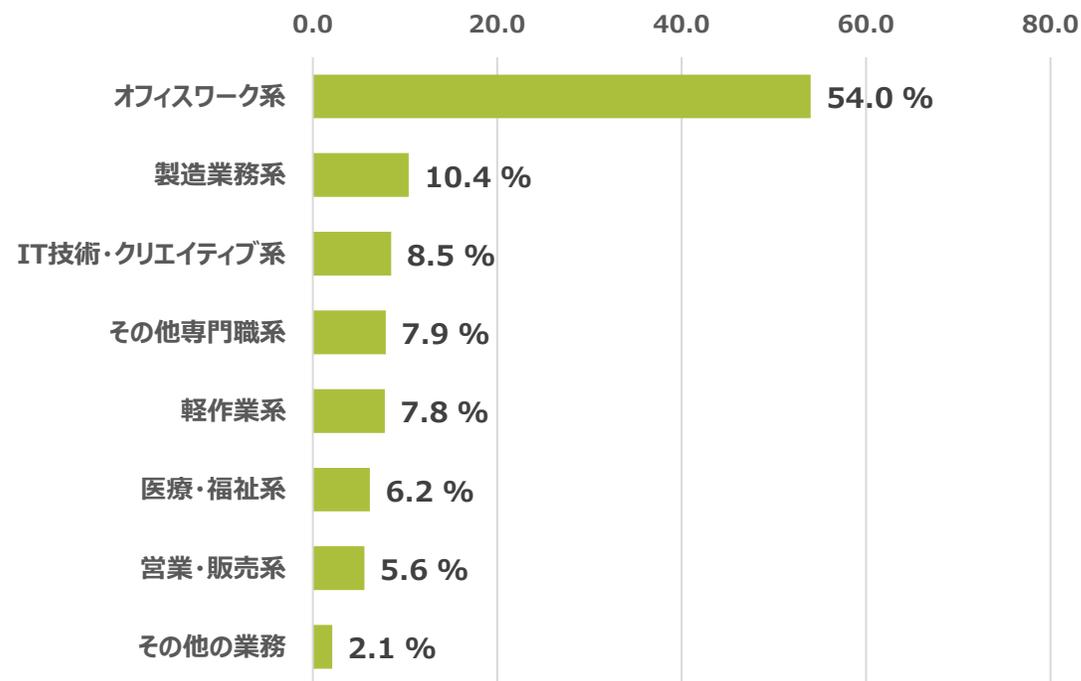
派遣活用状況

担当する派遣社員数は「2~3人」が最も多くて26.6%、次いで「1人」が22.3%で、**3人以下が過半数を占める**。また、就業中の派遣社員の職種は**オフィスワーク系が過半数を占める**。

担当している派遣社員の人数



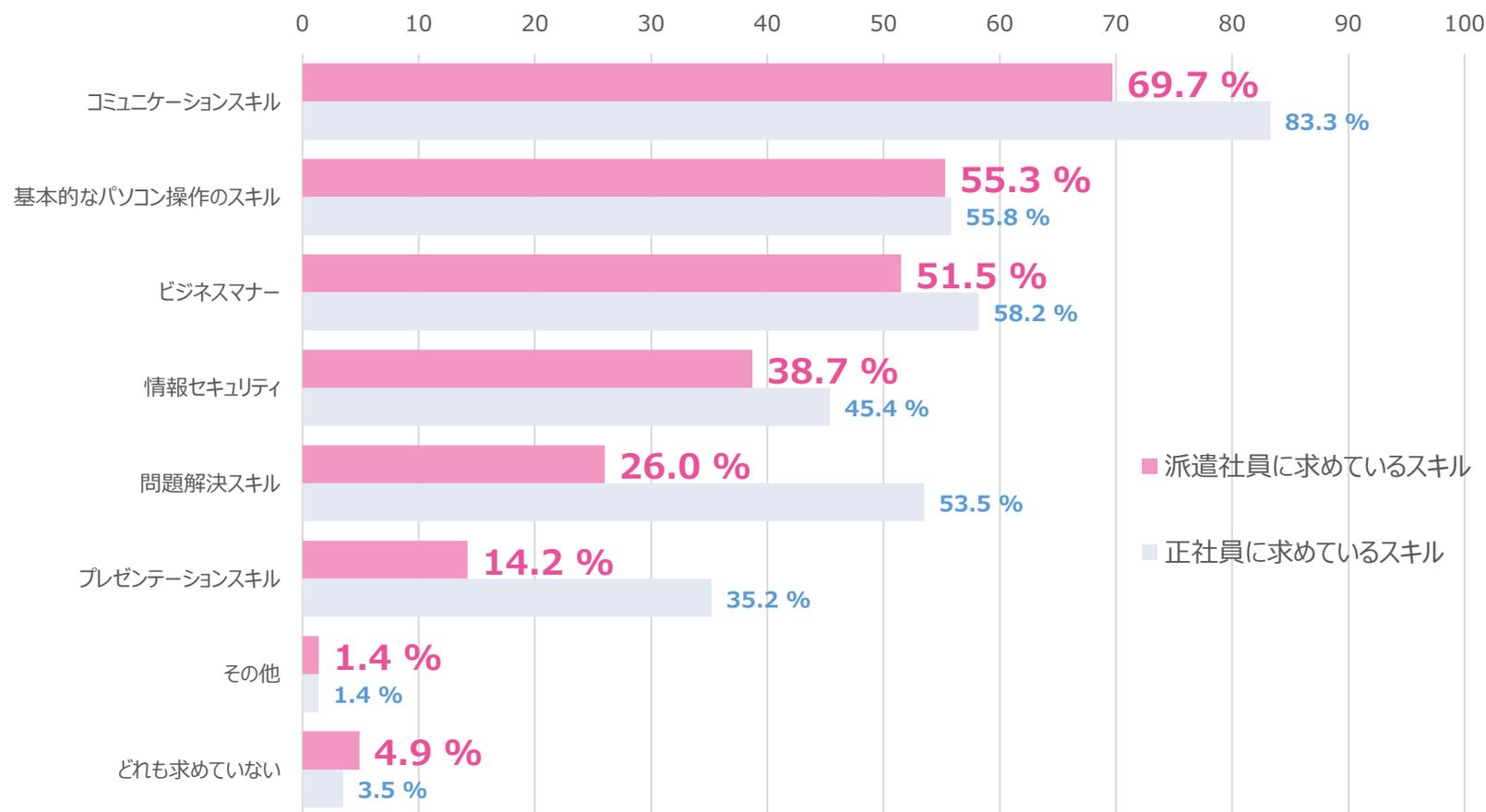
就業中の派遣社員の職種
(複数回答)



派遣社員に求める仕事に必要な基礎的なスキルについて

派遣社員に求める基礎的なスキルで最も多いのはコミュニケーションスキル、次いで基本的なパソコン操作のスキル、ビジネスマナー、情報セキュリティ、問題解決スキル、プレゼンテーションスキルの順であった。

一方で、正社員に求めている基礎的なスキルの上位3つは派遣社員と同じだが、問題解決スキル、プレゼンテーションスキルが派遣社員に比べて2倍以上多い結果となった。



派遣社員に求めるデジタル系スキルについて①

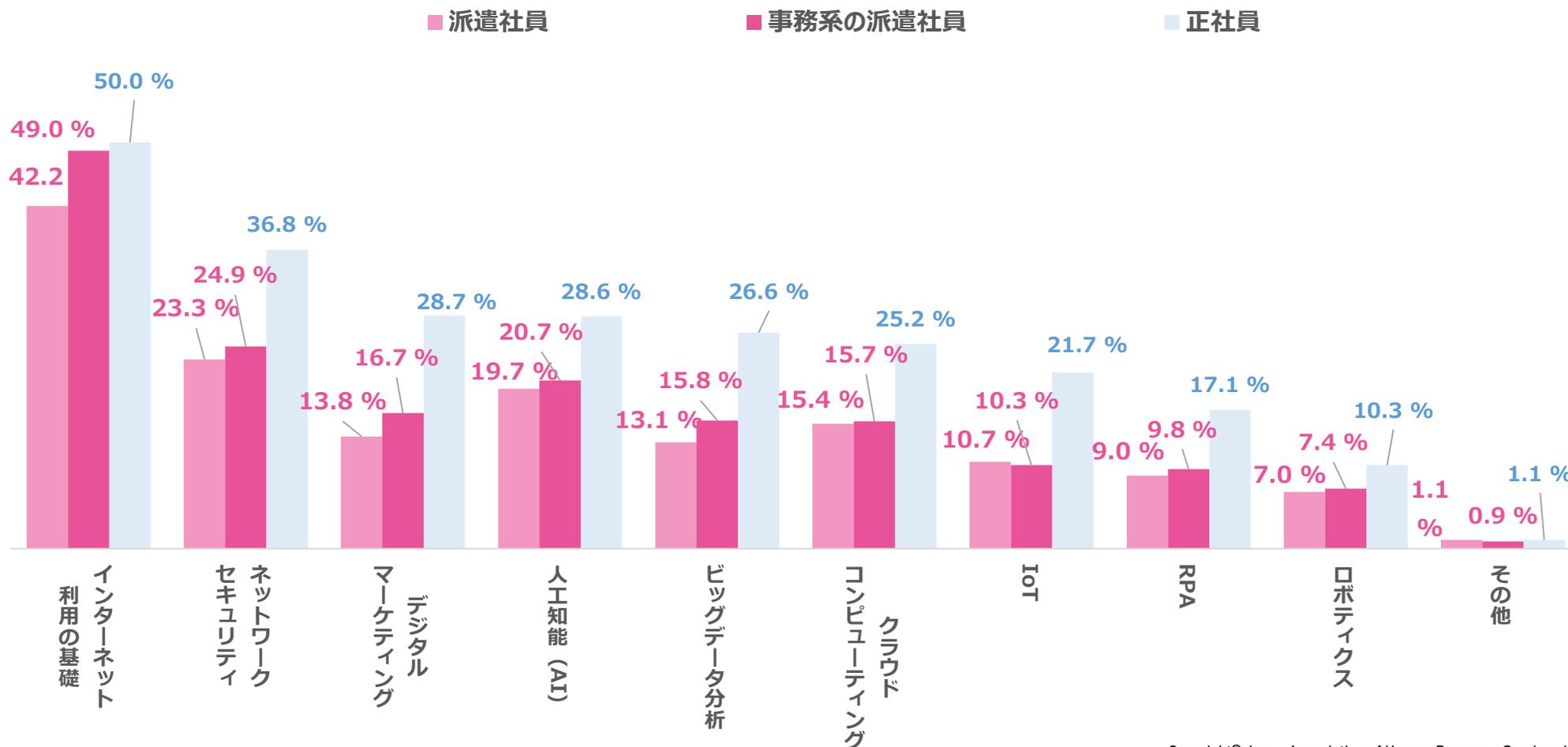
派遣社員になんらかのデジタル系スキルを求める派遣先担当者の割合は68.2%、そのうち事務系の派遣社員が就業している派遣先担当者の場合には78.2%と10pt高く、正社員に求める割合（77.5%）とほぼ同等であった。

	N	なんらかのデジタル系スキル を求める	どれも求めない
派遣社員に対して	2,142	68.2	31.8
上記のうち事務系の派遣社員が就業している派遣先担当者	1,156	78.2	21.8
正社員に対して	2,142	77.5	22.5

派遣社員に求めるデジタル系スキルについて②

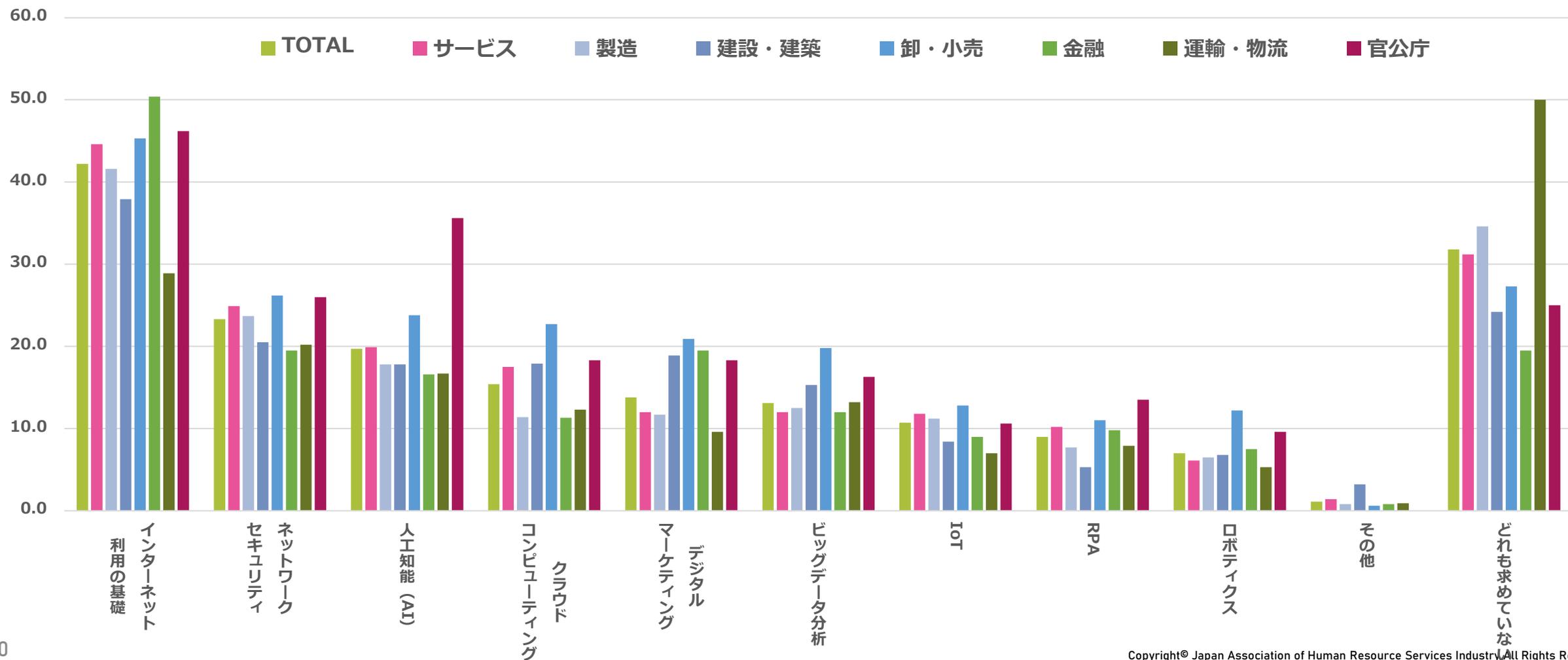
具体的なデジタル系スキルに関しては、派遣社員よりも正社員に求める割合が全項目で高い。

事務系の派遣社員が就業している派遣先担当者については、全項目において求める割合は派遣社員全体よりやや高く、「インターネット利用の基礎」は正社員と同等程度になっている。また、人工知能（AI）に関するスキルを求める割合も2割を超えている。



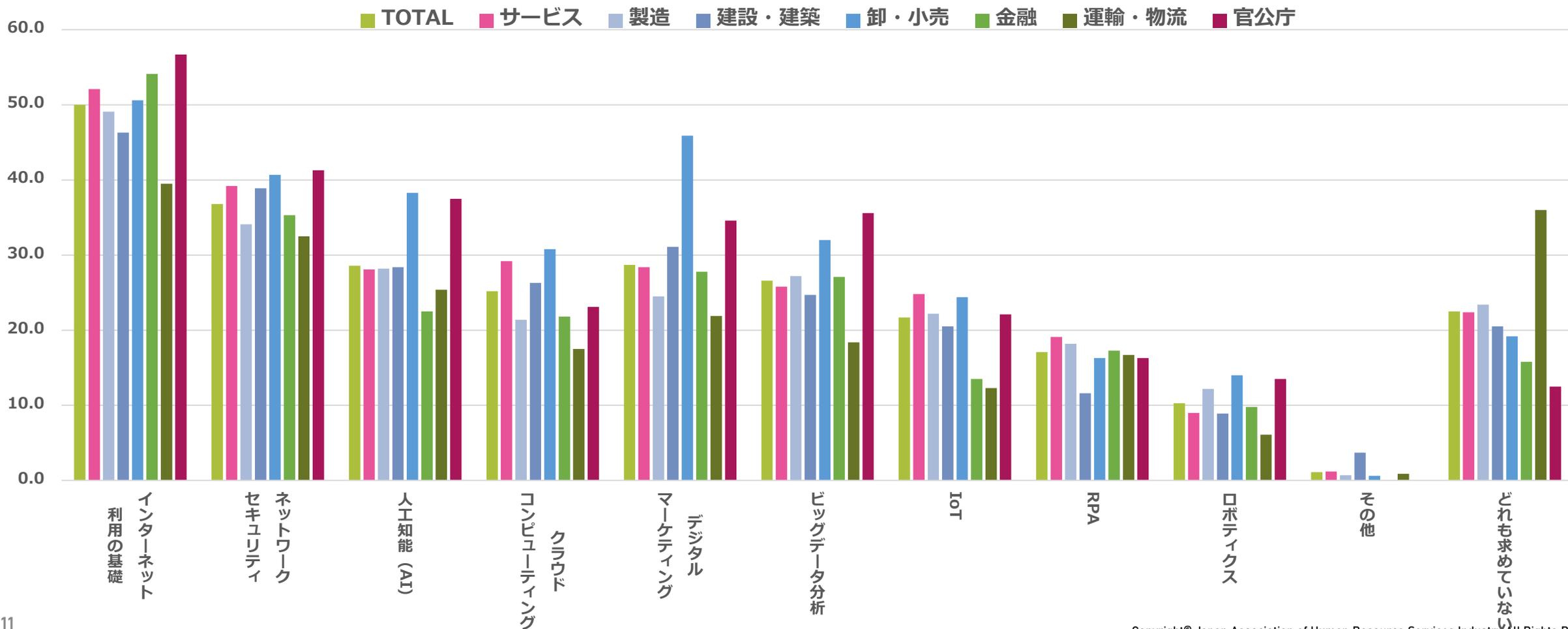
派遣社員に求めるデジタル系スキルについて③ 業種別

「インターネット利用の基礎」は全ての業種でニーズが高いが、特に金融で高くなっている。卸・小売は全体的に他の業種よりも派遣社員に対してデジタル系スキルを求める傾向があるといえる。一方で運輸・物流はデジタル系スキルのニーズは低い。



(参考) 正社員に求めるデジタル系スキルについて (業種別)

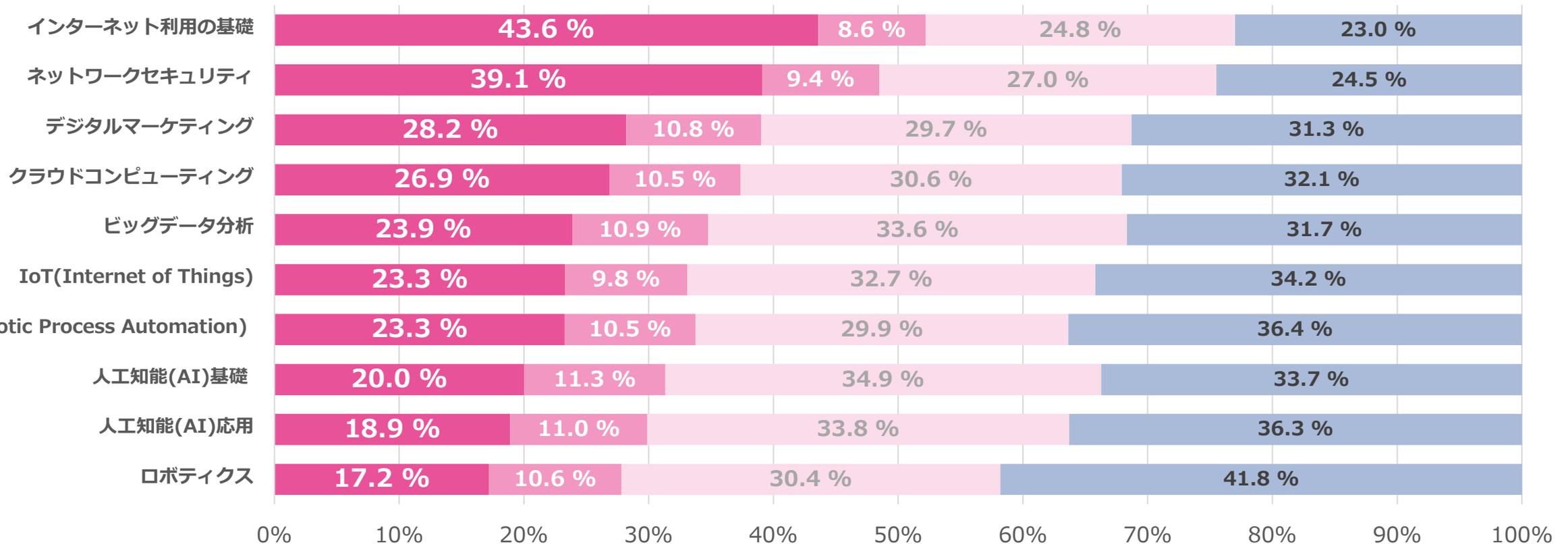
「インターネット利用の基礎」は全ての業種でニーズが高く、特に官公庁、金融で高い。全体的に派遣社員よりもデジタル系スキルを求める傾向があるが、特に卸・小売業で「デジタルマーケティング」、「人工知能 (AI)」が高い。一方で運輸・物流はデジタル系スキルのニーズは派遣社員の場合と同様に低い。



【参考】正社員へのデジタル系スキルに関する研修の実施状況

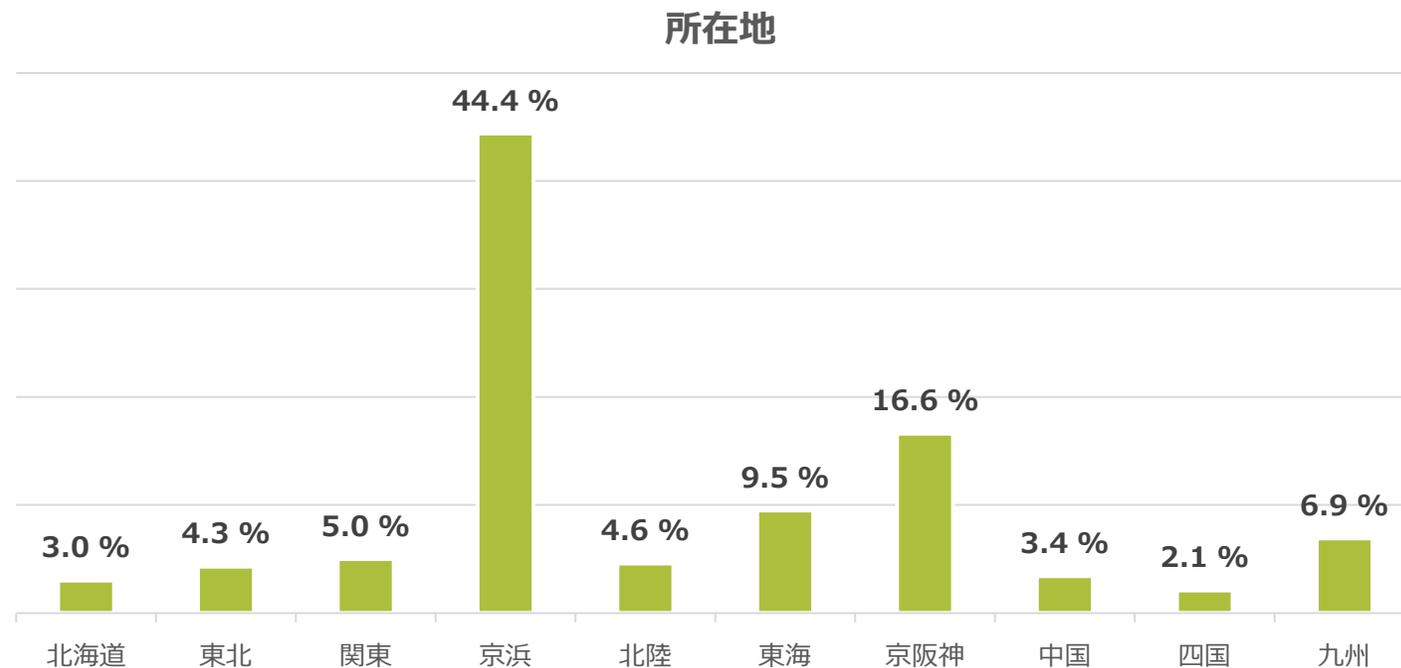
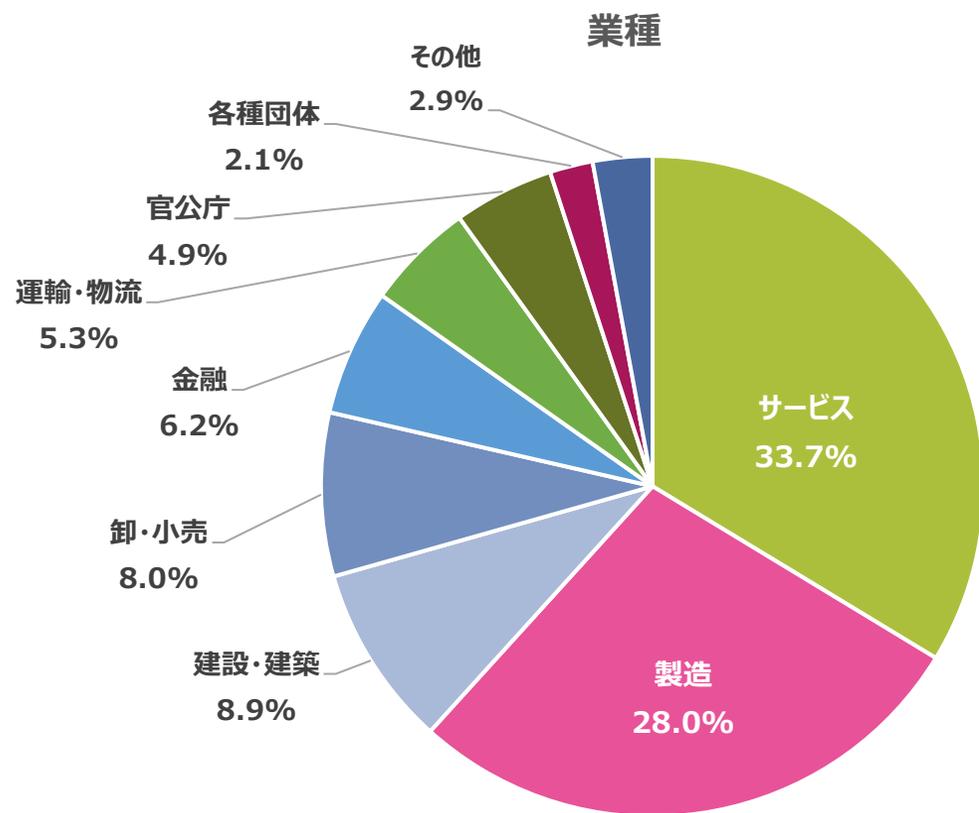
正社員に多く求められるインターネット利用の基礎やネットワークセキュリティはほぼ半数が、デジタルマーケティングや人工知能などその他については3~4割が実施済みもしくは実施予定との回答であり、「実施が必要と考えている」を含むと、約7割がデジタル系スキルに関する研修を重視し、関心があるといえる。

- 実施している
- 現在は実施していないが、今年度中に実施する予定である
- 現在は実施しておらず実施予定もないが、実施が必要と考えている
- 現在は実施しておらず、今後も実施するつもりはない



【参考】派遣先企業の業種・所在地

最も多い業種はサービスで33.7%、次いで製造が28.0%、所在地は京浜（東京、神奈川、埼玉、千葉）が最も多く44.4%、次いで京阪神(16.6%)、東海(9.5%)



【参考】令和3年度労働者派遣事業報告集計結果より地域ブロック別派遣先件数の分布

